

2018年2月1日  
楽天コミュニケーションズ株式会社  
株式会社 SQUEEZE

**楽天コミュニケーションズと SQUEEZE、**  
**宿泊事業者向け民泊運営支援サービス「あんしんステイ IoT」を提供開始**

- ・ 宿泊事業運営を3分の1に省力化、民泊運営コストを大幅に削減 -

楽天グループの通信会社である楽天コミュニケーションズ株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役会長兼社長：平井 康文、以下「楽天コミュニケーションズ」）は、宿泊事業者向けの運用支援サービス「mister suite（ミスタースイート）」を提供する株式会社 SQUEEZE（本社：東京都港区、代表取締役：舘林 真一、以下「SQUEEZE」）と、より安全で効率的な民泊運営を可能とする IoT サービス「あんしんステイ IoT」を共同で開発し、本日より SQUEEZE の顧客向けにサービス提供を開始します。

本サービスでは、SQUEEZE が提供する「suitebook（スイートブック）」と、このたび提供開始する「あんしんステイ IoT」を連携することで、鍵管理、宿泊者名簿作成、本人確認、騒音検知、宿泊者サポート、チェックアウト等の宿泊事業に関わる運用業務の大幅な効率化を実現します。また、宿泊者名簿作成や本人確認（身分証明書の写しの取得等）における大量の個人情報の取得・管理を楽天コミュニケーションズに委託することで、SQUEEZE および導入事業者は、個人情報管理における運用コストと事業リスクの低減が可能になります。

楽天コミュニケーションズと SQUEEZE は、これまでに1年以上にわたり両社のノウハウを相互に共有し、「あんしんステイ IoT」提供開始に向けて共同での実証実験を行ってきました。実証実験では、タブレットを用いてチェックイン時の運営を遠隔で行ったり、スマートロックを用いて解錠することでチェックインを無人化したりするなどして宿泊事業における運用業務をこれまでのおよそ3分の1（※1）に削減することができています。

SQUEEZE は、ホテル・民泊・旅館といった宿泊事業に特化し、運用業務をタスクごとに専門の登録ユーザーとマッチングする効率的なクラウドソーシングサービス「mister suite（ミスタースイート）」や管理物件の予約や清掃管理のシステム部分を切り出した SaaS モデル型サービスである「suitebook（スイートブック）」を展開しており、民泊・

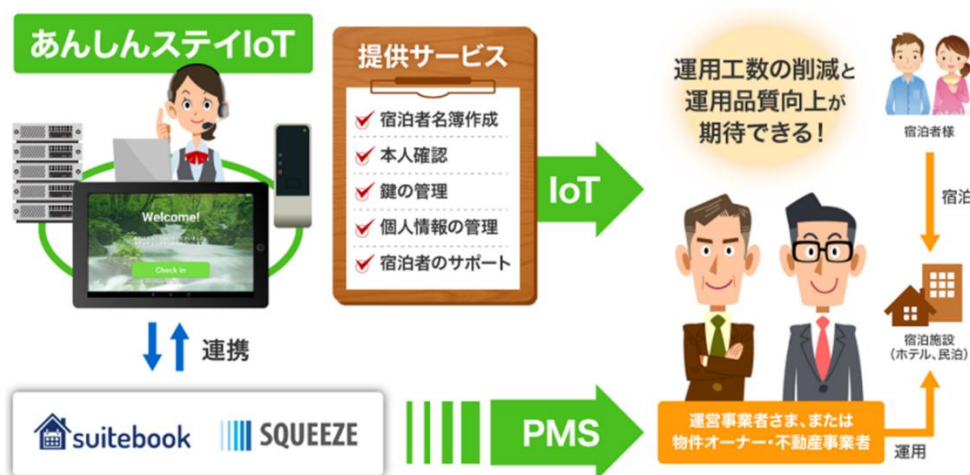
ホテル・旅館物件オーナーだけでなく、不動産管理業者がマンスリーなどの短期貸し物件の管理などにも使えるツールとして拡販しています。

楽天コミュニケーションズは、従来からの電話やインターネット接続サービスだけでなく、モバイルサービス、クラウドサービスなど、IPプラットフォーム上における様々なサービスに、「あんしんステイ IoT」を加え、事業領域を拡大します。

さらに今後は、「あんしんステイ IoT」にブロックチェーン技術など楽天グループの最先端技術を投入し、また、各種サービスとの連携を進めるなどして、法令遵守を徹底し（※2）、より安心で安全な民泊運営の支援をしてまいります。

- ※1. SQUEEZE の代表的な宿泊施設運用フローを 33 項目に細分化し、「あんしんステイ IoT」導入前後においてそれぞれの項目毎の平均運用工数を机上で割り出して算出（楽天コミュニケーションズ調べ）
- ※2. 特区民泊や簡易宿所などの宿泊施設においては、国や自治体の定める現行法に対応しています。また、新たに民泊における本人確認のルールが発表された場合、順次対応していきます。

#### 「あんしんステイ IoT」の概念図



「あんしんステイ IoT」のサービスプランと利用料金（税別）※3

1. 機器購入費（機器販売）

タブレット※4	54,000円 / 1台 + (機器保守オプション 800円 / 月・1台)
スマートロック※5 (2018年7月以降サービス開始予定)	49,800円 / 1台 + (機器保守オプション 300円 / 月・1台)
騒音センサー※5 (2018年7月以降サービス開始予定)	9,000円 / 1台 + (機器保守オプション 100円 / 月・1台)
IoT ゲートウェイ※6 (2018年7月以降サービス開始予定)	28,800円 / 1台 + (機器保守オプション 300円 / 月・1台)

2. 月額利用料（機器レンタル）

タブレット※4	1,800円 / 月・1台 + (機器保守オプション 500円 / 月・1台)
スマートロック※5 (2018年7月以降サービス開始予定)	830円 / 月・1台 + (機器保守オプション 300円 / 月・1台)
騒音センサー※5 (2018年7月以降サービス開始予定)	250円 / 月・1台 + (機器保守オプション 100円 / 月・1台)
IoT ゲートウェイ※6 (2018年7月以降サービス開始予定)	800円 / 月・1台 + (機器保守オプション 300円 / 月・1台)

3. 工事費、登録変更費（共通）

初期工事費※7	20,000円 / 部屋
変更・撤去費※7	15,000円 / 部屋
登録変更費※8	3,000円 / 部屋

4. サービス料（共通）

管理者・オペレーター※9	1,000円 / 月・1ID
タブレット※10(本人確認：宿泊者一部)	1,500円 / 月・1部屋
タブレット※10(本人確認：宿泊者全員)	2,000円 / 月・1部屋
スマートロック※5 (2018年7月以降サービス開始予定)	400円 / 月・1部屋
騒音センサー※5 (2018年7月以降サービス開始予定)	250円 / 月・1部屋
IoT ゲートウェイ※6 (2018年7月以降サービス開始予定)	600円 / 月・1部屋

- ※3 サービスの最低利用期間は1カ月、以降1カ月毎自動更新となります。
- ※4 タブレット1台につき、タブレット用充電ケーブル1本、タブレット用延長ケーブル1本およびタブレット用充電器1個が付属します。  
これらが破損した場合、交換にかかる費用を実費で請求します。機器購入費には、3年間のMDM利用料を含みます。
- ※5 IoT ゲートウェイの契約が必要になります。
- ※6 IoT ゲートウェイは、宿泊施設の状況（電波状況や部屋の構造等）により設置台数を楽天コミュニケーションズと協議の上、定めます。また、スマートロックおよび騒音検知はIoT ゲートウェイを共用することができます。
- ※7 楽天コミュニケーションズが別に定める標準工事の範囲内に限ります。
- ※8 工事を伴わないサービスの提供内容に変更が発生する場合に料金が発生します。
- ※9 1契約につき、1ID以上の契約が必須になります。
- ※10 「本人確認：宿泊者一部」、「本人確認：宿泊者全員」は、条例等により対象が異なります。

「あんしんステイ IoT」で提供される IoT 機器（イメージ）



本人確認用タブレット



IoT ゲートウェイ



スマートロック



騒音センサー

■ 「あんしんステイ IoT」 サービス紹介ページ

製品、価格、機能の詳細については、こちらをご覧ください。

<https://comm.rakuten.co.jp/houjin/stay/>

【楽天コミュニケーションズ株式会社について】

新ビジョン『The New Value Enabler towards our Digital Society』のもと、従来からの固定系通信サービス（マイライン、IP 電話、インターネット接続サービス）に加え、モバイル、クラウドサービスなど今後の『Everything over Digitalization』を見据えたソリューションを提供する楽天グループにおける ICT 事業の会社です。IP プラットフォーム上の音声やデータ、コンテンツやアプリケーションなどの新たな可能性を創出すべく、さらなる事業展開、拡大を目指します。詳細は <https://comm.rakuten.co.jp/> をご覧ください

い。

【株式会社 SQUEEZE について】

SQUEEZE は、「価値の詰まった社会を創る」という理念のもと、ホテル・民泊・宿泊事業者向けクラウドソーシングサービス「mister suite（ミスタースイート）」を 2014 年にローンチ、その後、Wi-Fi の MVNO 事業、民泊物件収益管理ツール等、顧客が必要とするあらゆるサービスをワンストップで提供できる体制を整備して参りました。今後もホスピタリティテック（Hospitality x Technology）のリーディングカンパニーとして躍進して参ります。詳細は <https://squeeze-inc.co.jp/> をご覧ください。

【リリースに関するお問い合わせ】

楽天コミュニケーションズ株式会社

経営企画部

Email : [rcomm-pr@mail.rakuten.com](mailto:rcomm-pr@mail.rakuten.com) TEL : 050-5518-8355

※本リリース中に記載の会社名、商品名、ロゴは、それぞれ所有する各社に帰属します。

※報道発表資料に記載された情報は、発表日現在のものです。仕様、サービス内容、お問い合わせ先などの内容は予告なしに変更されることがあります。